

平成20年度の主な事業を紹介します



医療 いりょう

- 病後児保育委託をスタートします。 【400万円】
- 岐阜医療科学大学との協働により、「(仮称)せき健康の郷づくり」プロジェクトを展開します。 【50万円】
- 高等学校、生涯学習センター、保健センターなどのすべての公共施設にAEDを設置します。また、AEDトレーニングユニットを購入し、人材育成に努めます。 【800万円】

● **初期夜間急病診療支援事業** 岐阜市、大垣市に次いで、中濃医療圏では初めてとなる初期医療の夜間急患診療(小児など)を行います。中濃厚生病院内に「初期夜間急病診療支援室」を設置し、武儀医師会の内科・小児科医師の協力により、医療機関の通常診療時間終了後に救急診療を行うものです。 【500万円】

子育てこそだて

- 安桜こども館を開設します。 【500万円】
- 麻しん、風しん混合ワクチン予防接種(中1・高3)を開始します。 【1,300万円】
- 妊婦健康診査の公費負担を6回に拡充します。 【2,500万円】



● **こんにちは赤ちゃん事業** 生後4カ月までの乳児のいるすべての家庭に保健師、助産師が訪問し、子育てに対する不安や悩みの相談、情報提供、親子の状況や養育環境の把握、助言などを行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービスの提供に結び付けます。 【100万円】



暮らし くらし

- 富野ふれあいセンター整備事業に着手します。 【400万円】
- 板取杉原集会場を整備します。 【3,400万円】
- コンビニ収納サービスを開始し、納税の利便性を向上させます。 【100万円】

● **マイバッグ作製・利用促進事業** ごみの排出を抑制し、地球温暖化防止に貢献するため、マイバッグを作製し、利用の促進とレジ袋の削減を図ります。市民、事業者、行政で構成する「関市レジ袋削減協議会」を中心として、マイバッグの使用を促進するための啓発活動も展開します。 【200万円】

防災 ぼうさい

- 自主防災会の資機材整備に対して助成します。 【100万円】
- 防災行政無線のデジタル整備を推進します。 【3億2,900万円】
- 市職員および消防団員が自衛隊防災危機管理研修に参加します。 【30万円】

消防設備などの充実を図ります▶



教育 きょういく

- 中学1年生がCPR・AEDトレーニングキットで利用方法を学びます。 【300万円】
- 小学校の教室に扇風機を設置します。 【600万円】
- 小中学校に洋式トイレを設置します。 【400万円】
- わかあゆプランの対象学年を小学3年生までに拡大します。 【2,500万円】
- 軽度発達障がい児童生徒のための特別支援教育アシスタントを増員します。 【3,400万円】
- 不登校、いじめで悩む児童のための心のサポーターを増員します。 【500万円】
- 小・中・高校の校舎の耐震補強を進めます。 【1億9,300万円】



● 放課後子ども教室事業

放課後や学校が休みの日に子どもたちの学び・体験・交流・遊びの場として「放課後子ども教室」をスタートします。地域の方と一緒に、子どもたちの健全育成に取り組みます。 【1,100万円】



仕事・環境 しごと・かんきょう

- 多重債務相談を開始します。 【20万円】
- 企業誘致の奨励および新産業の立地促進に努めます。 【3,600万円】
- 産直住宅建設事業を推進します。 【1,000万円】
- ◀ 農業集落排水施設から排出される汚泥を肥料化する移動脱水乾燥車を整備します。 【7,800万円】

道路・公園 どうろ・こうえん

- 県道、坂田関線、東山西田原線などの道路整備を進めます。 【7億8,700万円】
- 銚子谷線、奥板山真寄勢線などの林道整備事業を推進します。 【1億1,700万円】
- 中池公園整備事業を推進します。 【1億7,200万円】

今年度完成予定の西本郷一ツ山線▶



ゼロ予算事業 ぜろよさんじぎょう

新たな予算を伴わず市民サービスを向上させる事業

- 政策総点検 市のすべての事業を市民の目線で点検し、今年度の秋に公表します。 【0円】
- 移動市長室 各地域の情報を把握するため、年間に数日、地域事務所に移動市長室を設け、市長が執務を行います。 【0円】
- 災害時要援護者支援体制の整備 地域の災害弱者の実態を把握し、災害時に安否確認や避難援助できる体制を整備します。 【0円】
- 外国籍住民のための生活ガイド充実事業 市内で暮らす外国人が安心して暮らすことができるよう、生活オリエンテーションの開催や映像ガイドを作成します。 【0円】